

# お父さんとお母さんと共に

# 家族会 立ち上げるに結ぶ

## 天台地区

# 日刊 動労千葉

86. 2. 25

No. 2176

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（公衆）〇四七二二七二〇七

二・一五ストライキの渦中、千葉市・天台において「動労千葉家族会・天台地区懇談会」が開かれた。国鉄労働者を取りまく大変な状況下、出席した家族は共に助け合い、励まし合いながら「分割・民営化」一十万人首切り攻撃をはね返していくために、家族ぐるみ一丸となって闘いぬくとともに、早急に家族会を結成していくことを誓い合った。



中野委員長の話に、くいつくように集中。 質問、悩み、希望、決意…… 真剣な生の討論を通して、お互いの紐は、しっかりと結び合っていた。

## 家族ぐるみの決起が勝敗を決する

### 中野委員長が挨拶・決意

十九時、「懇談会」の会場である国鉄天台宿舍の集会所には、ストライキを闘っている組合員の家族二一名がかけつけた。

桜沢本部家族会担当の司会のもと、まず中野委員長があいさつにたった。

中野委員長は、「分割・民営化」が国鉄をバラバラに解体し、財界が食いものにしているものであると同時に、労働組合をつぶす攻撃であること、そして、新会社に残る者も追い出される者も大変苦しい状況に叩きこまれること、また、こうした攻撃を許さぬ道は家族ぐるみ闘う以外にない、そのためにも家族会の結成が求められていること等について具体的に提起した。

## 家族にもわかるピラを欲しい……等

### 次々と積極的意見

懇談に移るや、家族から意見、質問が集中し、中野委員長が一つひとつ答える形ですすめられた。最初は、処分されたら給料がもらえるのか、宿舍に入っていないのか、等々の不安にかられた質問も、討論がすすむにつれ、国労はなぜ闘わなければならないのか、国労を立ち上げるための宣伝活動はできないのか、国労の理解を得るための宣伝活動はできないのか、家族も理解できるピラを出してほしい等々、積極的な意見が次々と出されていった。

誰一人席をたつ人もなく、真剣な討論が続けられた。

## 全地域で家族会も連帯して

### 叩いていきたい——早急なとり組みを

そして家族の発言は夫の活動を理解することはもとより、平和な社会と生活を守るために家族は何をしなければならぬかという地点に到達し、家族同士の連帯を深めるための早急な家族会の結成と、夫とともに主体的に活動に参加していくこととの意見も出されていった。

「懇談会」は、予定の時間を大巾にオーバーし、二二時一五分、中曽根内閣・国鉄当局による生活破壊の攻撃と家族ぐるみ闘い、そのためにも家族会の早急な結成を確認して終了した。

# 千鉄局に不当処分抗議 職場激励 支援共闘



二月五日、動労千葉支援共闘会議の北原敏治氏、高島喜久男氏、長谷川英憲氏、宮島義勇氏、古波津英興氏、青柳晃玄氏、川田やす代氏、小西誠氏らは、動労千葉に対する政治的大量不当処分に抗議し、千葉鉄道管理局に抗議の手わたすと共に、線見阻止闘争の渦中の津田沼支部を訪ずれ、激励と交流を行った。